



いよいよ勝負の時!

自分の力を信じて、一生懸命本気で取り組む。その取組こそが、夢をつかむ力となるのです・・・。

3年生第3回実力テスト

1・2年生 2学期中間テスト

学年	期日	1校時	2校時	3校時	4校時	学年	期日	1校時	2校時	3校時	4校時
第3学年	10月5日	国語	英語	理科	授業	第1学年	10月5日	数学	社会	英語	授業
		10月6日	社会	数学	授業		授業	10月6日	国語	理科	授業
	10月6日	社会	数学	授業	授業	第2学年	10月5日	国語	理科	社会	授業
		10月6日	社会	数学	授業		授業	10月6日	英語	数学	授業

生徒のみなさんへ

日々の学習は、テストの点数だけが評価されているわけではありません。たとえテストの点数が低かったとしても、日々の学習に対して決してあきらめることなく、粘り強く、計画的に取り組む姿勢があれば、毎時間の学習態度、ノートの取り方、提出物、発言の積極性や内容等をもとに、きちんと評価されているのです。

このことは、現在運用している学習指導要領の中でも、3つの評価観点の一つ、「学びに向かう力・人間性等」としてきちんと定義されており、「自らの学習を調整しようとする側面」と「粘り強く取組を行おうとする側面」から評価を行い、その比重もこれまでの評価方法よりも高くなっているといえます。

また、「学びに向かう力・人間性等」の評価については、「私立高校のスポーツ推薦」や「公立高校前期選抜における文化・スポーツ特別選抜」においても重要視される傾向にあります。なぜなら、高校の文化・スポーツに関する部活動においても、新しい知識や難しい技術を身につけることはたくさんあるわけで、そのことを成し遂げるためには、仲間との協働性を大切にしながら、粘り強く学ぼうとする姿勢が、とても重要になってくるからです。また、高校では、このことを学習との両立の中で成し遂げられないと、当然ながら進級・卒業もできないという現実もあるようです。

このように日々の学習に取り組むことは、テストの点数だけではなく、文化・スポーツに関する部活動や、社会に出たときの様々な課題や試練に対して「粘り強く、継続して取り組む姿勢」というものを育ててくれるのです。

生徒の皆さんには、この事実をしっかりとして受け止めてもらう中で、自分の将来のために、今回の実力・中間テストに対して、自分の力を信じて、一生懸命、本気で取り組んでほしいと思っています。

また、このテスト勉強に対する取組を通して、これからの課題や試練に対して「粘り強く継続して取り組む姿勢」というものを、しっかりと身につけてほしいと思っています。

実りの秋に乗り遅れるな！生徒の皆さんのテスト勉強に対する最後の追い上げを大いに期待しています！
校長より



「学びの成果を挙げる心掛け」

学校法人目白学園理事長 尾崎春樹
出典 内外教育第7086号より 時事通信社

世の中、勉強が嫌いな子や勉強の成果をあげられず悩む子は多い。そういう子のために、私が自校で中高生に伝えている アドバイスを紹介させていただきます。

●まず「勉強が自分の人生でどう役立つのか？」と疑い、勉強から逃げる子は多い。しかし、今の学びによって、知識はもちろん、ものの見方や思考力、表現力が培われ自分の可能性が広がるのです。今、「嫌い」「面白くない」という学びから逃げていては、将来の大学進学時や就職時に自分の選択肢が狭くなり、その時に後悔しても遅いのです。

●次に学びの努力と成果は正比例しない。だからこそ、最初は努力が成果に結びつかないことも多いのですが、辛抱強く努力を3ヶ月、半年と重ねていくと、突然成果が出始めることもあるのです。この辛抱ができず、失敗と諦めを繰り返している例が多いのは非常にもったいないことだと思うのです。

●第三に、学びを確かに習得できるかは、間違った時、わからなかった時のフォローで決まると考えます。できる子は、なぜ間違ったのか納得するまできちんと詰める。そこを曖昧にして、表面的に正解を丸覚えするだけでは、理解が深まらず、過ちを繰り返すだけだと思うからです。自分を甘やかさず、何を理解できていないのか曖昧にしない心がけが成果につながると思います。

最後に、様々な学びに取り組んでも理解も遅く、すぐに忘れて身に付かないこともあると思います。だからこそ、勉強を楽しみ、興味を持つ工夫が大切になるのではないのでしょうか。小さな「なるほど」「面白い」の積み重ねがきっと得意につながっていくのだと思います。



生徒達は、テストを直前に控え、自分の学びにそれぞれが向き合っていることと思います。そして、そんな生徒たちには、決して自分の能力や学びの可能性について諦めてほしくないと思っています。そんな時に目にとまったのが今回紹介させていた「学びの成果を挙げる心掛け」という文章です。生徒のみなさんにも、保護者の皆様にも一読いただければ幸いです。よろしく願います。



「実りの秋」に向けて様々な教育活動を展開していきます。
ご紹介させていただきます。



令和5年度校内合唱コンクール

1. 期日 令和5年10月13日(金)
2. 場所 本校体育館
3. プログラム

- ①開会行事 9:50~
- ②1年生の部 10:00~
- ③2年生の部 11:15~
- ④3年生の部 13:50~
- ⑤閉会行事 14:50~



※4年ぶりの全学年合同開催です。ご来校のほどお待ちしております。
なお、時間はあくまでも予定時間となっておりますので、ご了承ください。
※出演順、曲目、指揮者、伴奏者については別に配布します案内文をご参照ください。

令和5年度3年総合発表会

1. 期日 令和5年10月25日(水)
2. 場所 本校体育館
3. プログラム

- ①開会行事 10:40~
- ②ダンス 10:50~
- ③ボランティア 11:28~
- ④わくわくアート 11:56~
- ⑤つまようじアート 12:14~
- ⑥伝えよう長崎・大村 13:30~
- ⑦和太鼓 14:03~
- ⑧閉会行事 14:20~

テーマ：私たちの旅は続く！ 表現・主体・協働

※3年生の生徒達が、自分自身の興味・関心に従って6コースに分かれ取り組んだ探求学習の成果を披露させていただきます。乞うご期待ください。

令和5年度1年生「心の講話」

1. 期日 令和5年10月26日(木)
2. 場所 本校体育館
3. 時間 5校時 13:45~14:35
4. 講師 郡中スクールカウンセラー 札本のり子先生
5. 対象 1年生全生徒 保護者



心も体も大きな変化を迎える中学生のこの時期。その中で不安や戸惑い、そして、イライラ感を抱きながら、家族や友達との関係を構築しようとしている1年生に対して、自分自身の感情とどのように向き合えばいいのか等について学習します。きっと、たくさんの「なるほど!」をもらえるはず。保護者の皆さんも一緒に勉強されませんか?

令和5年度1年生校外学習 「郡地区の戦争遺構巡り」

1. 期日 令和5年11月1日(水) 小雨決行
2. 場所 福重地区周辺
3. 時間 1校時~4校時 8:30~12:15
4. 講師 福重郷土史同好会会長 上野盛夫先生
5. コース

- ①皆同砲台(福重出張所付近)→
- ②福重飛行場跡の滑走路(皆同町)→
- ③招魂碑(大神宮)→④福重砲台(今富町)→
- ⑤佐奈河内川誘導路橋の土台→
- ⑥福重飛行場後の滑走路(今富町)



令和5年度2年生「修学旅行」

1. 期日 令和5年10月31日(火)~11月2日(木)の3日間
 2. 場所 北部九州方面
 3. 行程
- 一日目 学校→大刀洗平和祈念館→福岡市内班別自主研修→ホテル
二日目 ホテル→いのちのたび博物館→北九州キャリア学習・SDGs研修→ホテル→マリンワールド→ホテル
三日目 ホテル→キッザニア福岡→学校 ※主な見学施設を下記に紹介しています。ご一読ください。



大刀洗平和祈念館

館内では、飛行場の歴史や特攻隊の手紙などを含む大戦中の資料約1,800点のほか、旧日本陸軍九七式戦闘機、旧日本海軍零式艦上戦闘機(いずれも世界唯一の現存機)などを展示。平和へのメッセージを感じることができます。



いのちのたび博物館

地球誕生から現代に至るまでの自然と人間の歩みを展示・解説している西日本最大級の自然史・歴史博物館です。自然史ゾーン、歴史ゾーン、共通ゾーンの3つからなり、特に自然史ゾーンのアースモールに設置された恐竜骨格標本は子供たちに大人気。全長約35mにも及ぶ世界最大級のティラノサウルス等の骨格標本は迫力満点です。



マリンワールド海の中道

福岡県にある「マリンワールド海の中道」は九州を代表する水族館で、350種3万点の海洋生物を飼育しています。水槽の形状や照明、音響などにこだわった多彩な展示で、よりドラマチックに、より感動的に生き物たちとの出会いが楽しめます。今回の修学旅行では、なんと郡中学校単独での施設夜間貸切が実現しました。



キッザニア福岡

2023年7月31日で開業1周年のキッザニア福岡。九州の地元企業をはじめ、様々な企業・団体のサポートにより、宇宙飛行士やだし職人など約70種類の仕事やサービスを体験することができます。本物そっくりのユニフォームや道具を使い、様々な職種の仕事体験をすることで、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができます。

令和5年度 不登校等を考える会の開催について

1. 期日 令和5年10月24日(火) 17:00~
2. 場所 本校多目的活動室(リソースルーム)
3. 内容 ・登校支援の方向性について ・その他

このたびお様が「学校に行けない」、「学級や集団になじめない」等でお悩みの保護者様に向けて、具体的にお話を伺いながら、本校の登校支援の進め方や方向性を見いだしていくために、上記の日程で保護者会を開催することといたしました。

また、現在、学校に通常どおり登校しているお子様でも、様々なお悩み等を抱えていらっしゃる保護者の方の参加も可能です。

郡中学校の全ての生徒一人一人が大切な存在です。そして、その生徒達にとって、一番身近な大人の存在である学校職員と保護者の皆様と連携して生徒理解を深め、生徒一人一人の支援のあり方等の方向性を話し合い、確認していくことで、少しでも生徒達の力になればと考えています。

どうぞ保護者会の趣旨をご理解いただき、ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。



参加申し込みは、上記のQRコードからお願いします。